

保護者の皆様

大阪府立豊中支援学校

校長 平井 晋也

令和4年度 学校教育自己診断集計結果について(報告)

日ごろより、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

学校教育自己診断にご協力いただきまして、ありがとうございました。集計結果と考察を以下の通りご報告いたします。また、児童生徒の代表委員会が実施している「学校についてのアンケート」についても合わせてご報告いたします。

資料として、「令和4年度 学校教育自己診断 保護者・教職員集計 評点順一覧」と「令和4年度 生徒向け 学校生活アンケート 評点順一覧表」も同時にお配りしていますので、ご覧ください。

1. 評点の計算方法について

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

計算式 → $\{(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1)\} \div (\text{回答実数} \times 3) \times 100$

実回答者全員が A にすると 100 点となる。

2. 回収率について

		小学部	中学部	高等部	担任外	全校
【教職員】	配付数	61	44	48	17	162
	回答率	95.1%	100%	100%	100%	98.2%
【保護者】	配付数	171	128	127		426
	回答率	87.6%	63.5%	61.2%		72.1%
【生徒】	配付数		34	61		95
	回答率		88.2%	88.5%		88.3%

生徒は中学部 1 グループ、高等部の作業コース及び学習 1 グループを対象とした。

3. 集計結果について

①上位の 3 項目の評点

【保護者】

- 6 学校は、連絡帳や電話連絡等で家庭への連絡を適切に行っている。----- 94.0
 20 学校は、授業参観や懇談、学校行事などに参加する機会を設けている。----- 92.7
 2 子どもは楽しく学校に通っている。----- 92.5

【教職員】

- 18 わたしは、児童・生徒に人権意識をもって接し、体罰やいきすぎた指導は行わない。----- 91.8
 24 わたしは、校内におけるいじめ事象等の発生を未然に防ぐために常に努めている。----- 83.0
 25 わたしは、校内におけるいじめ事象等が発生した場合に報告や連携を含めてきちんと対応することができる。----- 82.6

【中学部生徒】

- 3 あなたは、友だちと、楽しく過ごせていますか。----- 89.3
 11 先生は、あなたに、丁寧な言葉づかいて話をしてくれますか。----- 87.7
 13 先生は、地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいか教えてくれますか。----- 87.7

【高等部生徒】

- 13 先生は、地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいか教えてくれますか。----- 91.3
 11 先生は、あなたに、丁寧な言葉づかいて話をしてくれますか。----- 90.5
 3 あなたは、友だちと、楽しく過ごせていますか。----- 87.8

②下位の3項目の評点

【保護者】

- 14 学校は、ICT を活用した教育活動に取り組んでいる。-----71.3
13 学校は、子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている。-----74.8
15 学校は、地域と連携し教育活動に必要な人材や資源を活用している。-----78.3

【教職員】

- 9 学校間交流や居住地校交流において「交流及び共同学習」が充実している。-----55.1
2 教職員の適性・能力が学校運営に活かされている。-----57.9
3 教科会・教科研などを通じて、各教科で教材などに関して学部をこえて情報交換ができています。----60.2

【中学部生徒】

- 1 あなたは、登校や下校のときに、困ったことはありますか。-----16.0
12 先生は、将来(進路のことなど)について、教えてください。-----69.6
6 あなたは、病気や怪我のときに、保健室に行くときと安心していただけますか。-----72.2

【高等部生徒】

- 1 あなたは、登校や下校のときに、困ったことはありますか。-----38.7
7 あなたは、学校の行事に楽しく参加していますか。-----77.3
2 あなたは、学校に行くのが楽しいですか。-----79.2

4. 考 察

【保護者】

21 項目中、90 点台が 7 項目、80 点台が 11 項目、70 点台が 3 項目となっている。1 ポイント以上評点が向上した項目が 5 項目あった。「PTA 活動」についての項目は 12 ポイントの向上がみられた。学部ごとにわずかな変動があるものの、9 割の項目で 80 点以上の高い評価をいただいております、本校の教育活動についてほぼ肯定的に捉えていただいていると思われる。以下の 2 項目は他と比較して評点が低い。

① 設問14「学校はICTを活用した教育活動に取り組んでいる。」-----71.3

今年度新しく追加した項目であり、「ICT(情報通信技術)を活用した教育活動」が具体的にどのようなものかをイメージしにくかったのではないと思われる。参観やブログ等で、ICT を活用した授業等の様子を保護者に伝えていけるよう工夫しながら、ICT の活用を進めていく必要があると思われる。

② 設問15「学校は子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている」.....74.8

教育環境の改善については毎年大阪府に要望しているところであるが、今後も児童生徒数の増加が予想されるため、特別教室等を普通教室に転用する必要性があり、特別教室等の施設・設備の充実が厳しい状況が続くと思われる。限られた環境の中で、教室内環境整備や防災の観点からの安全・安心のための学校全体の環境整備等を進めていくことが求められる。

【教職員】

26項目中、90 点台が1項目、80 点台が5項目、70 点台が11項目となっている。「人権意識を持った対応」、「いじめの未然防止や事象対応」、「活動内容を保護者に伝える」、「児童生徒理解」、「児童生徒の健康の維持増進」など直接児童・生徒に関わる基本的な事柄等については、おおむね高い評点となっている。「PTA 活動」については、前年度より7ポイントの向上が見られた。以下の2項目は 50 点台となっている。

① 設問9 学校間交流や居住地校交流において「交流および共同学習」が充実している。 55.1

昨年度に比べて、2.1ポイント向上した。今年度は、段階的に学校活動が通常に戻る中で、学校間交流や居住地校交流を行うことができた。しかし、感染症の影響により延期や中止になることもあった。引き続き、作品交流やオンライン交流なども取り入れながら、交流や共同学習を行っていく。

② **設問 2 教職員の適正・能力が学校運営に活かされている。…………… 57.9**

昨年度より、2.9ポイント向上している。教職員数が増加する中、全員の希望通りに所属等を決めることは難しいが、今後もヒアリングや授業観察等を通して教職員それぞれの適正や能力の把握に努め、個々に応じた業務の分担を検討していく。

【生徒】

中学部 13項目中、80点台が6項目、70点台が5項目、となっている。

高等部 13項目中、90点台が2項目、80点台が8項目、70点台が2項目となっている。

学校生活全般、友だちとの関係、教員の指導や支援の在り方、教員との関係性など、おおむね良好であると考えられる。全ての児童・生徒に対して細やかに目を向け、対処していけるように教員体制を整え、今後もこの状態を維持できるよう様々な場面で、安全・安心して学びやすい学校づくりを進めていく。また、このアンケート以外に、代表委員会の「学校についてのアンケート」を通して、全校児童・生徒の意見を聞く機会を設けている。

① **設問1「あなたは、登校や下校のときに、困ったことはありますか」【平均得点30.7】**

昨年度平均36.5から困りごとが若干軽減されたと捉えられるが、通学方法（通学バス、家庭～バス停間自力、完全自力など）それぞれの場面で少なからず困りごとがあるという結果である。引き続き登下校指導や聞き取り調査をするなど、継続して実態を把握しながら対応し、改善していくことが必要である。

② **設問 7 「あなたは、学校の行事に楽しく参加していますか」【平均得点78.2】**

昨年の得点 77.8から若干向上がみられた。今年度は、プール学習（中学部・高等部）、校外学習、宿泊学習、修学旅行、また運動会や豊中フェスティバルなどの全校行事も行うことができた。

5. 学校運営協議会からのご意見

- ・保護者の回答で高い評価をいただいております。学校生活を満足してもらえていることが嬉しい。保護者代表として言うと、「子どもは楽しく学校に通えている」の項目が100%になってほしいと思う。
- ・保護者から高評価を得ていることは、教員の励みにもなると思う。子どもたちに寄り添って、下位項目を見直しつつ、豊中支援学校をさらに進化させていってほしい。
- ・「地震や火災」について評価が上がったのは、避難訓練の実践の成果だと思う。ここ数年、コロナ禍で取り組みが難しかったと思うが、実践を大切にしてほしい。
- ・「交流および共同学習」は、地域からの発信も必要だと感じている。地域の学校と支援学校がお互いに働きかけながら、連携していけたらと思う。
- ・評価の低い「ICT」については、ICTに限らず新しい教育活動は、内容や意義が保護者に伝わりにくいので評価し難いのだと思う。新しい教育活動に関しては特に、学校からの発信力が必要である。
- ・「施設・設備」については、地域の学校も同様に、改善にかなり時間がかかる。府教委への要望を継続しながら、今ある環境で児童生徒が安全・安心に過ごせるように工夫をお願いしたい。
- ・「教職員の適正・能力」については、地域の学校でも専門性が必要になってきた。様々な子どもがいる中でアイデアや工夫が必要である。子どもを見て「どうすればよいか」を考えられる力（専門性）を身につけてほしい。また、地域の学校でも教員増で連携が取れなくなっていると感じる。校内だけではなく、学校間などにおいても横のつながりを大切にしてほしい。
- ・登下校に限らず、子どもの困りごとや些細な変化に気づいてほしい。子どものサインを見逃さず、困りごとの改善に向けて対応していただきたい。

6. PTA 運営委員会からのご意見

- ・児童生徒数増加で特別教室など施設・設備面の充実は厳しいと思うが、代表委員会アンケートの「机や椅子ががたがた」は気になる。傾きの程度にもよるが、安全にも関わることなので、学期末や大掃除の時など定期的に点検する機会を作してほしい。
- ・「地域と連携した教育活動」についての理解が追いつかず、回答に困った。ICTについても同様に、活動内容や活動のいい面などを保護者に分かりやすく伝えてもらえたらと思う。
- ・PTA 活動について評点が上がったことは嬉しい。学校活動が通常に戻ってきて、様々な活動ができたことや、PTA 役員と教員が協力して活動できたことがよかったと思う。